

2. 基本的な考え方

- 『柏原市新行財政計画』の方針の継承と取り組み方法のバージョンアップ
 『柏原市行財政健全化戦略』では、計画期間半ば、環境が大きく変化していく中、188の具体的取組項目から効果額約75億円(見込み)を生み出し、計画目標値に対し、一定の成果を上げることができた『柏原市新行財政計画』の「改革の方向性」を“**継承**”していきます。
 また、行財政改革の有効性を高め、効果効率の向上を図るため、「**受益者負担・経費支出・事業規模の適正化**」「**政策・施策を戦略的に展開できる組織体制の整備**」「**資産・施設の有効活用**」など、一つ一つの項目に取り組む手法から“**市全体的、全庁的な観点を付加した取り組み**”へとしていきます。
- 財政を取り巻く環境の変化特性
 『柏原市新行財政計画』の「改革の方向性」を継承していくことを基本としますが、新行財政計画策定時と現在の社会情勢を比べると、市税に最も大きな影響を与える景気の変動は極端な動向を示すようになっており、短期的な5年間の収支見通しを基準とする改革であっても安心できない状況にあります。そこで“**情勢や状況の変化にも柔軟に対応できるような取り組み**”へとしていきます。
- 将来を見据えた行財政改革
 行財政改革は予算の削減や経費の節減を主な目的としたものになりがちです。しかし、柏原市には市民委員の意見が反映された『**新しい柏原まちづくり基本計画2008**』や「**施策評価の結果**」があり、また、市民アンケート「**柏原市第4次総合計画の策定に係る市民意識調査**」も実施していることから、これらを、行財政改革に組み合わせ、“**将来を見据えた行財政改革**”としていきます。

『柏原市新行財政計画』の3つのスローガン

大きなサービス、小さな経費
 (事務事業・組織機構見直し 等)

予算は余算、余らせて資産を残す
 (収入確保・計画的な財政運営 等)

市役所が変われば、市が変わる
 (行政評価・現場の意見の吸収 等)

『柏原市新行財政計画』の強化ポイント

3つのスローガンをバージョンアップ

「大きなサービス、小さな経費」
 現行計画を検証、取り組みの有効性を高め、効果効率の向上を図る

「予算は余算、余らせて資産を残す」
 財政状況を勘案、計画や取り組み内容を重点化した戦略的な行財政運営とする

「市役所が変われば、市が変わる」
 実践的な取り組みで“新しい柏原”を築く

『柏原市行財政健全化戦略』の大スローガン

市民幸福度の高い市政

市民の幸福度を高め
 「新しい柏原」を実現

新しい柏原

住みたいまち
 住み続けたいまち
 魅力あるまち
 柏原